



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 大
 コード番号 2349 URL <http://www.nid.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名）鈴木 清司
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名）下山 和郎（TEL）03（6221）6811
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,411	2.7	325	△11.9	340	△9.8	104	△52.2
24年3月期第2四半期	7,217	1.3	368	1.3	377	1.6	218	136.7

（注）包括利益 25年3月期第2四半期 120百万円（△40.2％） 24年3月期第2四半期 202百万円（108.5％）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	27	53	—	—
24年3月期第2四半期	57	59	—	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,117	6,215	55.9
24年3月期	11,108	6,264	56.4

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 6,215百万円 24年3月期 6,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	45	45	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	45	45	00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,300	3.2	1,050	20.5	1,030	14.5	500	52.0	132	08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	4,369,830株	24年3月期	4,369,830株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	584,237株	24年3月期	584,237株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	3,785,593株	24年3月期2Q	3,785,593株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に、徐々に持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機や円高の長期化、海外経済の低迷等、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

当社グループの属する情報サービス業界においては、クラウドコンピューティングやスマートフォン、タブレット端末の普及により、関連する分野の市場成長が期待されております。しかしながら、国内企業は製造業を中心に減速した状態が長引いており企業のIT投資も抑制傾向で推移し、情報サービス業界にとって厳しい事業環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、引き続き既存顧客に対する現場営業の徹底と、「とる営業」から「生み出す営業」への転換などにより営業体制を強化し、受注獲得に努めました。8月には本社を移転し各事業拠点を集約することで、経営資源の共有と業務効率化をはかりました。

また、既存分野の事業に加えて付加価値ビジネスへの取り組みも継続しており、当社グループの技術を生かしつつ新たな事業領域の拡大を目指しております。その中心として当社独自に開発した、Androidスマートフォン向けアプリの「VALiB0」（注1）とサービスプラットフォーム「Nstylist」（注2）、デジタルコンテンツカード「Decoca」（注3）の販売展開に注力いたしました。

売上面では、通信システム事業と情報システム事業の受注が好調に推移し、前年同四半期を上回る結果となりました。利益面では、前期から継続する震災に起因するNID東北の不振、一部不採算プロジェクトの発生及び移転関連経費により、前年同四半期を下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高7,411百万円（対前年同四半期比2.7%増）、営業利益325百万円（同11.9%減）、経常利益340百万円（同9.8%減）となりました。また、8月に実施した本社移転統合に伴う費用と保有する金融系株式の減損などにより特別損失が増加し、四半期純利益104百万円（同52.2%減）となりました。

注1 「VALiB0」：Androidスマートフォン向けアプリケーション。スマートフォンの待受画面の新しい活用スタイルを提供するもので、インストールすることで最大8面分、選択したブランド（企業）の待受画面を設置できます。それぞれのブランドが提供する待受画面の情報は自動更新され、利用者は待受画像の変化を楽しんだり、すばやく最新情報をチェックすることができます。

注2 「Nstylist」：タブレットやスマートフォンなどに搭載することで、企業のニーズに対応するアプリケーションサービスを簡単に作成・提供できます。また、専用サーバーの「Nstylist server」と「Nstylist」搭載端末がダイレクトに連携し、シームレスな情報管理を実現するとともに、システムインフラの保守・運用を総合的にサポートします。AndroidとiOSに対応。

注3 「Decoca」：Androidスマートフォンの待受画面向けのコンテンツを、カード形式で販売するサービス。カードをコレクションする楽しみと、待受画面上のコンテンツの両方を楽しめる。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①通信システム事業

当事業では、自動車や医療関連の受注が増加し、モバイル関連の受注も安定的に推移しました。この結果、売上高は1,832百万円（対前年同四半期比8.8%増）、営業利益77百万円（同17.5%増）となりました。

②情報システム事業

当事業では、流通、製造業や生損保、共済関連の受注が増加しましたが、一部不採算プロジェクトが発生しました。この結果、売上高は1,469百万円（同7.3%増）、営業利益86百万円（同20.1%減）となりました。

③ネットワークソリューション事業

当事業では、官公庁関連の受注は減少しましたが、運輸業や生損保などの主要顧客からの受注は安定的に推移しました。また、生産性向上にも取り組みました。この結果、売上高は2,222百万円（同1.8%増）、営業利益116百万円（同29.9%増）となりました。

④NID・IS

当事業では、データ入力関連の受注は電力関連の顧客を中心に増加しましたが、システム開発の受注は減少しました。この結果、売上高は1,230百万円（同2.6%減）、営業利益75百万円（同12.3%増）となりました。

⑤NID・IE

当事業では、官公庁関連の受注が減少しました。この結果、売上高は380百万円（同6.5%減）、営業利益35百万円（同16.0%減）となりました。

⑥NID東北

当事業では、震災の影響による停滞が依然として継続し、厳しい状況で推移しました。また、一部不採算プロジェクトも発生しました。この結果、売上高は275百万円（同10.8%減）、営業損失42百万円（前年同四半期は4百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに売掛金の減少、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末に比べ420百万円減少し8,305百万円となりました。固定資産は本社移転に伴う有形固定資産の増加、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ429百万円増加し2,812百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、11,117百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、買掛金の増加、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し2,263百万円となりました。固定負債は退職給付引当金の増加等により、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し2,639百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、4,902百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、6,215百万円となりました。

この結果、自己資本比率は55.9%（前連結会計年度末は56.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想の詳細につきましては、平成24年11月5日に公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,039千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,553,362	5,337,807
受取手形及び売掛金	2,286,093	1,957,526
有価証券	1,039	1,039
仕掛品	272,815	345,167
繰延税金資産	434,780	421,275
その他	178,000	242,526
流動資産合計	8,726,091	8,305,343
固定資産		
有形固定資産		
土地	136,767	136,767
その他(純額)	111,069	292,038
有形固定資産合計	247,836	428,805
無形固定資産		
ソフトウェア	214,467	206,488
その他	43,854	28,127
無形固定資産合計	258,322	234,616
投資その他の資産		
投資有価証券	423,538	650,631
繰延税金資産	900,829	900,013
差入保証金	476,747	520,175
その他	75,371	78,317
投資その他の資産合計	1,876,487	2,149,138
固定資産合計	2,382,647	2,812,560
資産合計	11,108,738	11,117,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	322,266	534,087
未払金	348,718	382,140
賞与引当金	894,031	880,431
未払法人税等	259,391	81,860
その他	402,967	385,185
流動負債合計	2,227,375	2,263,705
固定負債		
退職給付引当金	2,104,396	2,132,057
役員退職慰労引当金	402,300	401,425
その他	110,235	105,699
固定負債合計	2,616,932	2,639,181
負債合計	4,844,307	4,902,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	6,403,131	6,337,006
自己株式	△1,226,363	△1,226,363
株主資本合計	6,318,795	6,252,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△54,364	△37,654
その他の包括利益累計額合計	△54,364	△37,654
純資産合計	6,264,430	6,215,016
負債純資産合計	11,108,738	11,117,904

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,217,009	7,411,879
売上原価	5,965,877	6,157,414
売上総利益	1,251,131	1,254,464
販売費及び一般管理費	882,284	929,417
営業利益	368,846	325,047
営業外収益		
受取利息	78	52
受取配当金	4,308	4,195
受取保険金	900	6,227
助成金収入	3,545	3,635
その他	3,306	3,847
営業外収益合計	12,138	17,959
営業外費用		
支払利息	793	748
投資事業組合運用損	627	—
その他	2,035	1,876
営業外費用合計	3,455	2,624
経常利益	377,529	340,382
特別利益		
固定資産売却益	101	—
特別利益合計	101	—
特別損失		
固定資産除却損	88	25,009
投資有価証券評価損	—	61,154
会員権評価損	1,800	—
本社移転費用	—	69,883
その他	270	5,597
特別損失合計	2,158	161,645
税金等調整前四半期純利益	375,472	178,736
法人税、住民税及び事業税	175,465	69,442
法人税等調整額	△18,009	5,066
法人税等合計	157,455	74,509
少数株主損益調整前四半期純利益	218,016	104,227
四半期純利益	218,016	104,227
少数株主損益調整前四半期純利益	218,016	104,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,849	16,710
その他の包括利益合計	△15,849	16,710
四半期包括利益	202,167	120,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,167	120,937

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	375,472	178,736
減価償却費	70,881	80,521
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,381	27,661
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,187	△875
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,636	△13,600
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,561	3,209
受取利息及び受取配当金	△4,386	△4,248
支払利息	793	748
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	61,154
有形固定資産売却損益 (△は益)	△101	27
有形固定資産除却損	88	22,997
会員権評価損	1,800	—
売上債権の増減額 (△は増加)	475,045	328,566
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△160,667	△70,282
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	94,553	△66,796
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△154	60
仕入債務の増減額 (△は減少)	△86,914	211,820
未払金の増減額 (△は減少)	△36,789	26,607
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,550	△18,982
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△9,756	28,084
その他	3,166	2,620
小計	748,246	798,032
利息及び配当金の受取額	4,386	4,248
利息の支払額	△793	△748
法人税等の支払額	△156,393	△245,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	595,446	555,776

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△12,367	△269,792
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△14,190	△212,444
有形固定資産の売却による収入	114	506
有形固定資産の除却による支出	—	△23,610
無形固定資産の取得による支出	△49,184	△52,623
差入保証金の差入による支出	△688	△120,093
差入保証金の回収による収入	2,512	76,665
その他	△4,706	1,497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,010	△599,895
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	410,000	410,000
短期借入金の返済による支出	△410,000	△410,000
配当金の支払額	△169,636	△169,090
その他	△2,935	△3,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,571	△172,801
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	344,864	△216,921
現金及び現金同等物の期首残高	4,859,806	5,492,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,204,670	5,275,697

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	1,683,884	1,369,994	2,182,924	1,264,080	406,947	309,178	7,217,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,793	35,292	46,916	263,591	347,124	17,649	731,368
計	1,704,678	1,405,287	2,229,840	1,527,672	754,071	326,827	7,948,377
セグメント利益又は損失(△)	66,337	108,059	89,723	66,972	41,658	△4,413	368,336

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	368,336
セグメント間取引消去	1,533
全社費用（注）	3,643
その他	△4,667
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	368,846

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	1,832,476	1,469,738	2,222,456	1,230,853	380,577	275,777	7,411,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,878	1,390	23,102	232,175	338,710	60,711	664,968
計	1,841,354	1,471,128	2,245,558	1,463,028	719,288	336,489	8,076,847
セグメント利益又は損失（△）	77,970	86,329	116,583	75,184	35,001	△42,563	348,507

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	348,507
セグメント間取引消去	1,951
全社費用（注）	△23,391
その他	△2,019
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	325,047

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更の対象となる平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産はほとんどが全社資産であり、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の各セグメント利益及び損失に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。